

総合教育会議資料

【中学校全体の主な取組】

令和2年10月22日

足立区立千寿桜堤中学校

校長 勝田 敏行

教員用タブレットの活用

◎授業用ノートからタブレットへの移行→板書から大型ディスプレイへ
授業計画 ワークシート 参考資料（パワーポイント、動画）

◎具体的な取組

○デジタル教科書の活用

- ・国語では、文章の構成機能を利用しながら、序論、本論、結論等の構成を確認している。
- ・国語や社会科では、本文やグラフ、写真等を投影して、課題を共有（第四中学校）
- ・数学では、問題を投影して、アニメーション等で答え合わせ。
- ・数学では、デジタル教科書の問題をクラス内の生徒に取り組ませ、その間、教員は苦手な生徒に個別指導をする。
- ・英語では、音声機能を活用して発音確認。生徒端末を活用して、友達同士で撮影し、一緒に振り返り。
- ・理科では実験や現象について、動画で確認。
- ・様々な教科で、重要な箇所にペンでマークをするなどして、学級の生徒全体の目線をあわせている。

○カメラ機能活用

- ・英語では、生徒が書いた英文等を撮影し、大型ディスプレイに投影。
- ・体育では、友達同士で実技を撮影しあい、振り返りに活用。
- ・美術では、作品を撮影し、実技評価に活用。
- ・家庭では、実技動画、例えば針通しなどの動画を撮影しておき、全体指導で活用。自分でできる子はその動画を見ながら取り組み、教員は苦手な生徒を個別指導。
- ・理科の観察物などを投影している。（新田中学校）

第四中学校の様子



第四中学校の社会科では、オリジナルの教材を作成して、教員間で共有している。オリジナル教材、デジタル教科書、紙教科書を使い分けながら学習を進めている。投影されているものが、オリジナルの教材。主にパワーポイントで作成している。

新田中学校の様子

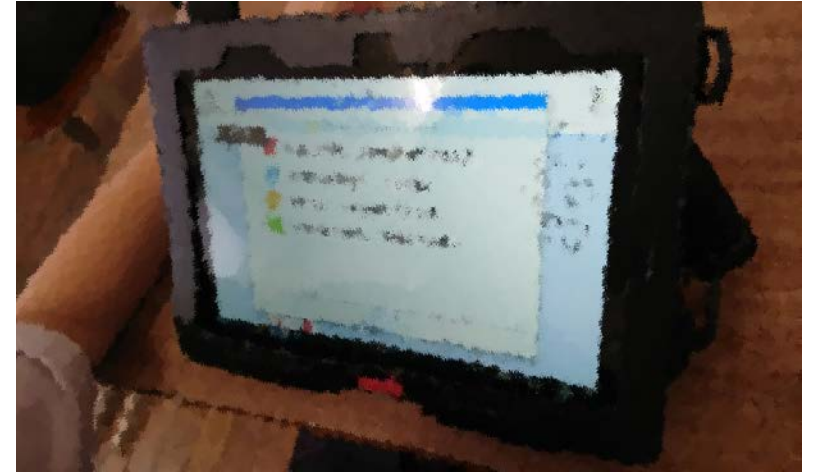


新田中学校の理科の授業では、教員端末のカメラ機能を活用して生徒が発表。
教員用端末のカメラに水溶液を映し、実験の結果を発表

生徒用タブレットの活用

○ワークシートとしての活用（花保中学校）

花保中学校の社会科の授業では、教員端末から生徒端末に質問を送信。受け取った質問に回答する。質問の形式は、ジャストジャンプを活用してアンケート形式にしたり、文章形式にしたりするなど課題に応じて使い分けている。生徒たちも操作に慣れており、「ストレスなく活用を進めている。画面をよく見ると、ペンでメモを書いているのが分かる。



○グループ学習のツールとしての活用

- ・ グループの意見をまとめて大型ディスプレイに映す

○探究型学習のツールとしての活用

- ・ 行事の事前学習における参考資料の探究
- ・ 行事の事後学習における資料作成ツール
- ・ 調べる学習における参考資料の探究

Z o o mの活用

○朝会や集会に活用。

- ・学校によっては、教員立会いの下、生徒たちに設定を研究させて活用している学校もある。

○ZOOMを活用して学年会等の会議を実施。

○ZOOMを活用して区中研研究授業・研究協議会の開催

Z o o mモデル校の取組

- 家庭との連絡 健康観察（興本扇学園、千寿桜堤中学校）
- eライブラリの活用（興本扇学園、千寿桜堤中学校）
- 仮想休校によるオンライン授業の実践（千寿桜堤中学校）
- 全校集会、生徒会選挙等のZOOMによる配信（ZOOMモデル校）
- 不登校生徒への連絡、授業への参加（ZOOMモデル校）
- 小学校への中学校説明会（千寿桜堤中学校）

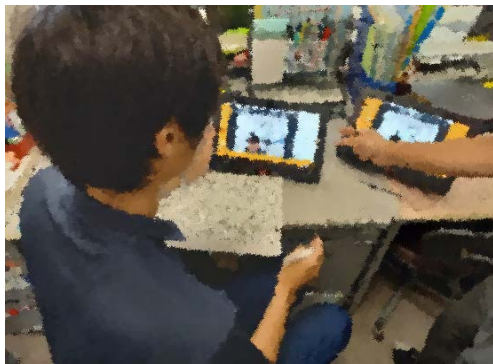
○興本扇学園では、夏休み中にZoomで家庭と接続し、健康観察や宿題の様子等を確認。

その際、教員はeライブラリの管理画面を見ながら、生徒にアドバイスをしていた。

○千寿桜堤中学校では、土曜日授業の際、3年生を仮想の休校として、学校と自宅にいる生徒をZoomで接続して授業を実施した。

事前指導により、生徒たちはストレスなく機器を操作し、わからない点は質問をするなどして授業に取り組んでいた

○千寿桜堤中学校では、全校集会、始業式、終業式、生徒会役員選挙をZOOMによる配信で行った



千寿桜堤中学校 朝の健康観察



千寿桜堤中学校 Zoom授業風景



千寿桜堤中学校 立会演説会



現状

- 教員用タブレットの活用は急速に広がっている。
- 現状の生徒用タブレットは個別の活用、グループ学習での活用に効果的である。
- ZOOMモデル校では、生徒一人に一台タブレットが配付されたことにより、教育の機会均等が保障され、教員の意欲は格段に上がった。

課題

- 教員、学校施設による通信環境の格差是正が課題である。
問題点：全教員にタブレットがない(管理職・美術科・音楽科・特別支援教室・非常勤講師用等)。分割型体育館から配信できない。教室の位置によって不具合が起きる。個々のタブレットによる不具合が起きる。 など
- 休校や家庭学習、不登校対策のためのツールとしてのタブレット活用から授業で使用するツールとしてのタブレット活用、さらには学校教育の根本的な改革(GIGAスクール構想)に向けての推進ツールとして、ICT機器活用を考えていくことが課題である。